

I 研究の構想

1 研究主題

【研究主題】

子どもの道徳的実践力を高める道徳教育の充実

～道徳科を要とした取組を通して～

2 研究主題設定の理由

(1) 児童生徒の実態から

現在、子どもたちを取り巻く社会の状況、環境が日を追う毎に変化しています。科学技術の発展によって社会は高度情報化され、一人一人が携帯電話、スマートフォンを保有する時代となりつつあります。情報を取得する手段が多様化し、SNS を利用したり、ブラウザを閲覧したりすることで、誰もがいつでもどこでも検索できるようになり、便利になってきました。

その反面、子どもたち同士の関係性が希薄になってきており、友だちとどのようにかかわっていけばよいのかわからないと悩みを抱えていたり、周囲が気になってしまい自分のしたいことを見失っていたりするなど、心にたくさんのストレスを抱えて過ごしています。いじめ問題は、こうした個人のストレスを解消できなくなったとき、解消する方向を間違えたときに起こるものです。心の安定が崩れやすくなり、修復も難しい状況になっている現在、子どもたちの抱える問題は多岐にわたると考えられます。

これらの問題を解決するためには、児童生徒一人一人が多様な価値観の存在を認めつつ、自ら何を感じ、考え、他者と対話し協働しながら、よりよい方向を目指す資質や能力（道徳的実践力）を備えることがこれまで以上に大事になってきています。こうした資質や能力の育成に向けて、道徳教育は大きな役割を果たすと考えます。

(2) 学校現場の声から

子どもたちのいじめ問題をうけて、学校現場でも道徳教育が大事であることを理解しています。しかし、「日常どのように実践していくのか」「学校教育全体として一人一人の教員が果たす役割は何か」と問われて、自信をもって答えられる人は少ないと思います。

また、平成26年度中央教育審議会答申において、道徳の教科化が示されました。内容は、メディアを通して聞いているものの、「答申の具体的な内容はどうなっているのか」「道徳教育がどのように変わったのか」と疑問に感じている人が多くいると思います。

道徳の教科化が迫っている今、現場の声に少しでも応えるためにも、これらの課題を解決していくことが重要であると考えます。

3 研究内容

- 1 道徳の教科化の背景
- 2 道徳教育の目標、道徳科の目標
 - ・道徳教育の目標
 - ・道徳科の目標
 - ・内容項目
- 3 道徳教育の推進
 - ・道徳教育の全体計画
 - ・年間指導計画の作成
 - ・道徳教育の全体計画の別葉
 - ・各学級の指導計画の作成
- 4 道徳科の授業づくり
 - ・道徳科の授業とは
 - ・教材の活用
 - ・学習指導案
 - ・基本的な学習指導過程
 - ・実践事例（小学校・中学校）

4 研究計画

児童生徒の道徳的実践力を育てるために



【平成27年度】

◎理論研究の基礎・基本

- ・道徳教育の目標
- ・道徳教育の推進（全体計画・各学年の指導計画・別葉）
- ・道徳科の授業づくり

【平成28年度】

◎理論研究に基づく実践研究

- ・理論に基づく道徳科授業実践の検証
- ・成果を上げている道徳教育実践の収集
- ・授業実践の収集
- ・第2年次の成果と課題

【平成29年度】

◎理論研究のまとめ

- ・道徳教育全体に関わる要点の整理
- ・道徳科における評価の在り方
- ・研究のまとめ

5 研究の全体構造

【児童生徒の実態】

- ・子どもたち同士の関係性が希薄になり、コミュニケーションに課題がある。
- ・心の不安を抱え、いじめ、不登校などの問題がある。

【学校現場の声から】

- ・子どもたちの道徳的実践力を伸ばしたい。
- ・道徳の教科化とは何だろうか。また、学習指導要領の改訂でどのように変わったのか。

【研究主題】

子どもの道徳的実践力を高める道徳教育の充実
～道徳科を要とした取組を通して～

【研究仮説】

- ◆道徳教育の基本的な考え方や道徳科の指導過程などについて、その意義や役割を理解し、具体的な実践に結び付けていくことにより、子どもの道徳的実践力を向上させ、道徳教育を充実させることができるだろう。

【平成27年度】◎理論研究の基礎・基本

- ・道徳教育の目標
- ・道徳教育の推進（全体計画・各学年の指導計画・別業）
- ・道徳科の授業づくり

【平成28年度】◎理論研究に基づく実践研究

- ・理論に基づく道徳科授業実践の検証
- ・成果を上げている道徳教育実践の収集
- ・授業実践の収集
- ・第2年次の成果と課題

【平成29年度】◎理論研究のまとめ

- ・道徳教育全体に関わる要点の整理
- ・道徳科における評価の在り方
- ・研究のまとめ